

令和6年5月20日～5月26日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和6年度第4報)

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

5月20日～5月26日の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、5月25日を除き「注意」を示す21以上となりました。

6都市の10年間平均値と比較すると、24日は2以上高くなる一方、25日は2近く低くなる等、暑さ指数(WBGT)はやや激しく変化しました(図1、表1参照)。

11都市(注2)では、東京、名古屋、高知、福岡、鹿児島で「警戒」を示す25以上に、那覇で「嚴重警戒」を示す28以上になる日がありました(表1、表2参照)。

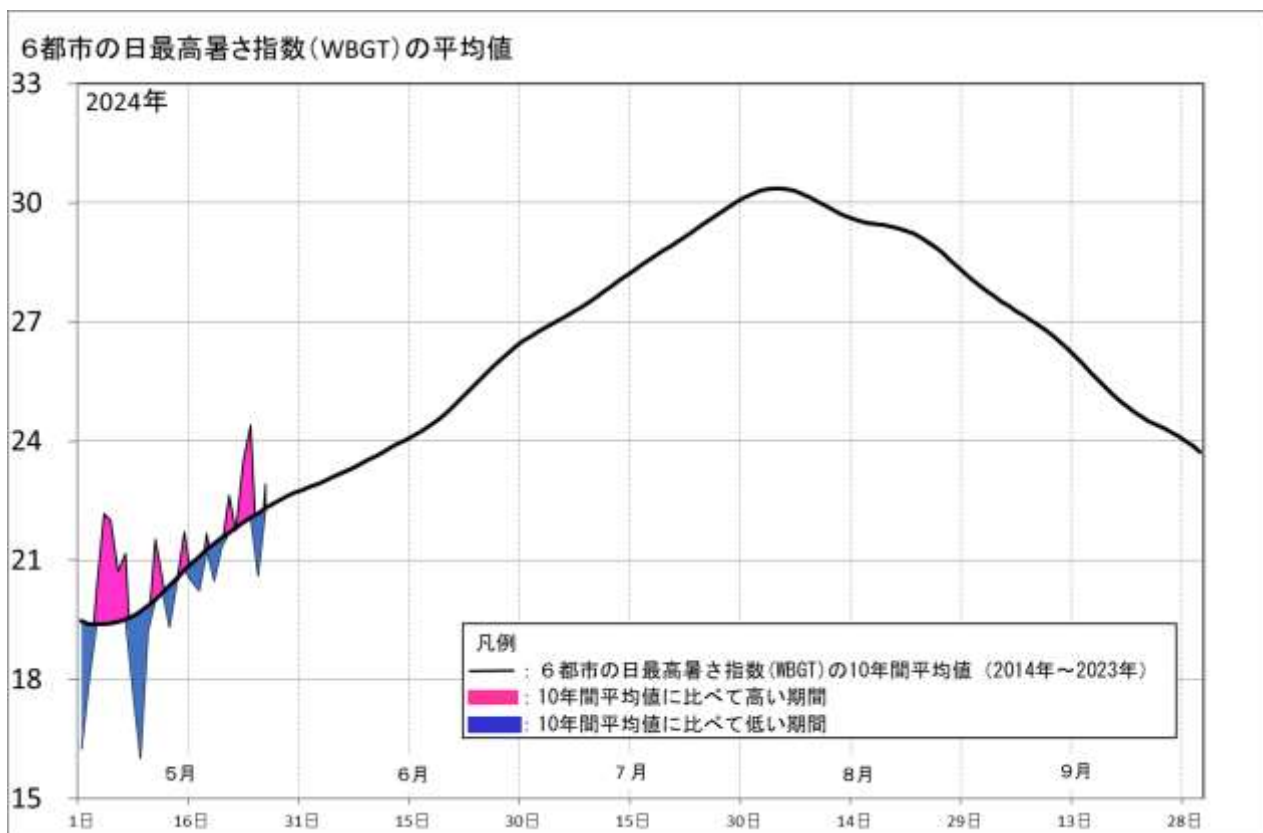


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(5月20日～5月26日)(注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
20	19.2	20.3	17.0	20.9	23.8	21.7	21.3	24.2	23.3	23.9	27.1	21.3
21	13.1	20.4	16.7	26.1	22.8	23.2	22.9	25.5	24.1	24.6	24.0	22.6
22	18.1	18.5	18.8	23.1	22.7	21.2	22.3	24.0	22.5	23.1	26.0	21.8
23	21.0	22.9	23.4	23.7	23.5	23.7	21.9	22.6	24.8	24.7	27.6	23.5
24	14.5	23.6	22.0	26.2	25.5	24.5	23.6	25.4	24.6	25.8	27.7	24.4
25	12.8	17.5	17.0	22.6	21.2	20.9	19.0	25.4	23.0	26.4	29.7	20.6
26	17.9	21.7	20.2	22.7	23.5	22.8	22.0	23.3	26.4	25.8	29.6	22.9

注1 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

注2 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 表1、表2の値は速報値であり、年度末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の5月20日～5月26日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
25以上	0	0	0	5	3	0	0	3	2	16	82

ほぼ安全	注意	警戒	厳重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

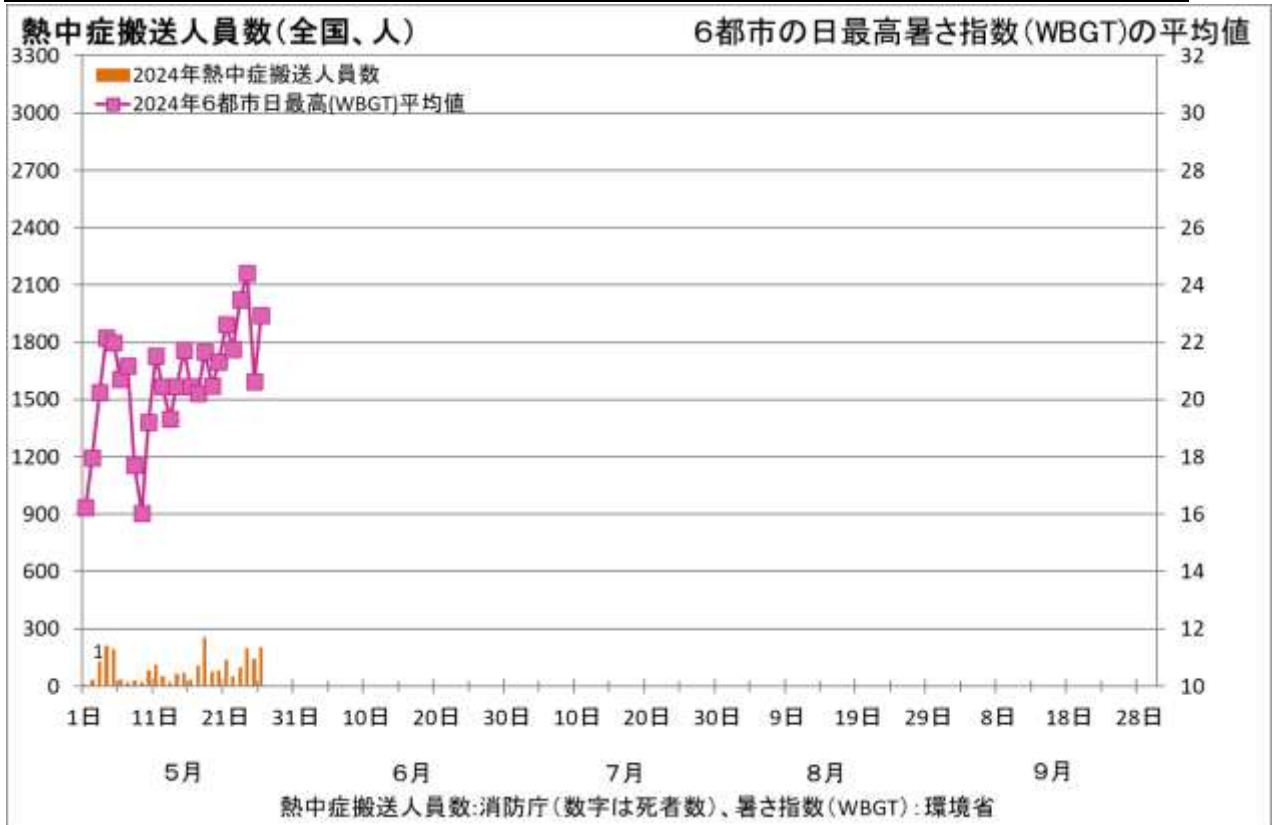


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

5月20日～5月26日までの6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、5月26日を除き「注意」を示す21以上となりました(表1、図1)。

消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、多い日が24日の197人、26日の202人で、5月20日～26日の総数は904人となりました(図2)。

3. 全国の熱中症警戒アラート等の発表状況

5月20日～5月26日の間、熱中症警戒アラートの発表状況は以下のようになっております（表3）。なお、熱中症特別警戒情報の発表はありません。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（5月20日～5月26日）

地方※1	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均※2	0	0	0	0	0	0
のべ回数	0	0	0	0	0	0
地方※1	中国	四国	九州北部※3	九州南部・奄美	沖縄	
域内平均※2	0	0	0	0	0.3	
のべ回数	0	0	0	0	1	

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」
回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

4. 今後の見通し

5月31日までは、東北地方以南で「警戒」を示す25以上に、東海地方以南で「厳重警戒」を示す28以上に、小笠原諸島（関東甲信地方）及び沖縄地方で「危険」を示す31以上になる地点がある見込みです。

気象庁の2週間気温予報（5月29日発表、5月30日～6月10日）によると、「北海道地方の気温は、向こう1週間程度は寒気の影響で平年並か低く、5月30日はかなり低い所もあるでしょう。農作物の管理等に注意してください。その後は平年並か高いでしょう。」

東北地方、東・西日本の向こう2週間の気温は、寒気の影響で平年並か低い日が多く、6月4日頃からはかなり低くなる所もある見込みです。農作物の管理等に注意してください。

沖縄・奄美の気温は、向こう2日間程度は高いでしょう。その後は寒気の影響で低い日が多く、かなり低くなる日もある見込みです。農作物の管理等に注意してください。」となっております。（参照：2週間気温予報 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/twoweek/?fuk=1>）

別図：気象庁の地方予報区・府県予報区の区分について
(気象庁提供図を補足)

北海道		宗谷			
上川・留萌		網走・北見・紋別			
石狩・空知・後志		十勝		釧路・根室	
胆振・日高					
渡島・檜山					
				青森	
				秋田 岩手	
				山形 宮城	
		石川 富山 新潟		福島	
		福井			
		岐阜		長野	
		群馬		栃木	
		山梨		茨城	
		埼玉			
		東京		千葉	
		神奈川			
		和歌山			
		三重		愛知	
		静岡		東海	
		京都			
		滋賀			
		奈良			
		大阪			
		兵庫			
		鳥取			
		島根			
		岡山			
		広島			
		山口			
		福岡			
		佐賀			
		長崎			
		熊本			
		大分			
		鹿児島			
		宮崎			
		奄美			
		愛媛			
		香川			
		高知			
		徳島			
		四国			
		近畿			
		九州南部			
		奄美			
		沖縄			
		沖縄本島			
		八重山			
		宮古島			
		大東島			